

登録コード	E9109200	開講年度	2026				
授業科目	福祉心理学					担当教員	向井 秀文
英文授業名	Psychology for Human Services					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・3時限	対象学生	
講義室	教育E401			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	福祉のあり方と必要性について理解すること	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	福祉心理学的支援の実際について学び、福祉臨床を行う際の基本的な態度を身につけること	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、多文化協働、健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	福祉心理学に関連する法律や制度、暴力被害者や高齢者、障害を抱える人々への心理的支援等について講義する。授業では、各回で可能な限りディスカッションの時間を設け、福祉心理学に関連する知識の理解を深めてもらう。 準備されたテーマについて、受講生が資料にまとめ、パワーポイントを使って発表する（二人一組）。その内容について、ディスカッションを行う。						
(5)授業計画	第1回：オリエンテーション 第2回：福祉心理学とは 第3回：福祉臨床における心理支援についての概要 第4回：暴力被害者（DV、虐待等）の現状と心理支援 第5回：児童相談所等の援助業務の実際 第6回：児童・保護者への心理的支援の実際 第7回：我が国における高齢者の現状と心理的支援 第8回：高齢者へのアプローチの実際 第9回：障害児・者への心理的支援 第10回：知的障害・発達障害児・者への支援の実際 第11回：身体障害児・者等への支援の実際 第12回：家族や施設職員への心理的支援の実際 第13回：福祉臨床での多職種連携と心理職の位置づけ 第14回：授業の総括（期末試験） ＊教育実習における欠席分の補講について：e-alpsに補講用の動画をアップロードしますので、視聴後、指定されたフォーラムにレポートを提出してください ＊授業最終回到授業アンケートを実施します						
(6)成績評価の方法	・「授業の達成目標」の到達度を測るディスカッションや課題への取り組み：50% ・「授業の達成目標」の到達度を測る期末試験：50% ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	ディスカッションや課題への取り組み、期末試験に関して、それぞれの評価割合が6割以上であれば「水準にある」、7割以上であれば「やや上にある」、8割以上であれば「かなり上にある」、9割以上であれば「卓越している」と判断する。						
(8)事前事後学習の内容	授業中に配布される資料を使って授業内容を十分に復習してから次回授業に臨むこと。						
(9)履修上の注意	・授業の終了時に毎回課題（小レポート）を実施する。 ・授業時間以外の予習・復習が必要となる。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	mukaih@shinshu-u.ac.jp（向井秀文）						
【教科書】	指定しない						
【参考文献】	適宜紹介する						